

2010年3月期(2009年度)第1四半期決算説明会における質疑応答

質疑応答

- : 質問
- : NECの回答

セグメントごとの状況について

- 第1四半期の実績について、セグメントごとに会社計画との差を教えてください。
 - 売上高については、キャリアネットワーク事業を中心に下ぶれ、全社では100億円程度の未達になりました。一方、営業損益は、キャリアネットワーク事業が計画を下回りましたが、プラットフォーム事業や社会インフラ事業などで計画を上回り、全社では50億円程度の過達となりました。
- キャリアネットワーク事業が計画比下ぶれとなった理由は何ですか。
 - 海洋システム(海底ケーブルシステム)とパソリンク(*)の減少が影響しました。海洋システムについては、複数のプロジェクトが契約直前の段階までできています。パソリンクについては、機能を強化した新機種を第2四半期から出荷し、競争力を強化します。
- NECの携帯電話機事業がカシオ日立モバイルコミュニケーションズと統合しましたが、第1四半期の業績にどのように影響しましたか。また、統合によりマイナスに働いたものはありましたか。
 - カシオ日立モバイルコミュニケーションズとの統合は6月1日なので、当四半期への影響は1カ月分です。したがって、営業損益への影響は大きくありません。
 - なお、事務所の移転費用などの統合費用が第1四半期から発生し、損益にマイナスに働きますが、すでに業績予想には織り込んでいます。
- ITサービス事業の受注動向について、前年同期比で教えてください。
 - 金融業向けが上向いてきています。製造業向けは一時低迷しましたが、動き始めてきました。一方で、公共・医療向けや流通向けは前年度に大型プロジェクトがあったこともあり、減少しています。

- ITサービス市況は改善していますが、円高や製造業での2番底の懸念もあります。通期計画の達成確度について教えてください。
 - 今年度から海外売上比率が高い半導体事業が連結対象から外れたため、全社で見れば為替の影響はほとんどありません。また、企業業績が改善してきている中で、当社の属する業界は大きなマイナスの影響は受けないと考えています。当社では引き続き用削減も進めており、通期計画の達成に向けて取り組んでいきます。

海外事業について

- 中期経営計画V2012で拡大を計画している海外事業の進捗はどうか。
 - 2009年度の半導体を除いた海外売上比率は、16%程度でした。今年度第1四半期は17%程度であり、年間では20%程度を計画しています。中期経営計画V2012でお話したとおり、グローバル5極体制を構築しており、これから効果が出てくると考えています。

その他

- 持分法変動損失が特別損失に60億円計上されています。これについて教えてください。
 - ルネサス エレクトロニクスに関する資産評価を行った結果、1株当たり純資産が変動し、当社の持分と差額が生じました。この変動分を当第1四半期に計上しました。
- * パソリンク：NECの製品名で、2地点間を結ぶ超小型のマイクロ波通信システム。主に携帯電話システムの無線基地局間アクセス回線に使われる。

以 上